



6月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第473号



中田小

令和2年6月1日

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



子どもの気持ちを育てる

校長 中村 真弓

学校に子どもたちが戻り、教育活動が再スタートしました。

緊急事態宣言下の臨時休業では、新型コロナウイルスという目に見えないものに対する恐ろしさもありましたが、毎日の報道に接したり生活様式が変わったりすることで、子どもたちだけでなく大人も不安な思いを抱かれていたと思います。お仕事によっては自宅勤務をされていた方もたくさんいらっしゃると思います。学校の職員も3割程度の人数が学校に出勤し、緊急受入れや校庭開放に対応していました。そんな社会情勢の中で医療や介護の現場で働かれる方には、感謝の気持ちでいっぱいです。また、学校の子どもに関係するところでは、放課後キッズクラブや学童保育のスタッフ・指導員の方々にお世話になりました。感謝申し上げます。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだ新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。学校でも、考えられる限りの感染防止策を講じて教育活動を再開します。ご家庭にも協力をお願いすることが出てくることと思いますので、よろしくお願いいたします。

令和2年度の教育活動が再開するにあたり、教職員には「子どもの気持ちを育てる」ことを大事にするように話しました。集団生活から長く離れていた子どもたちがスムーズに学校生活に入れるよう、お子さんの様子をよく見ていきます。気持ちを落ち着けて学校生活に慣れ、休業中のストレスや人と関わることへの不安を取り除けるようにしていきます。

また、「学校に行きたい」「勉強をがんばろう」「友だちと関わりと楽しいな」など、子どもが学校生活への意欲をもてるよう様々に働きかけを工夫し、「気持ち」が育つようにしていきます。今年度から実施の学習指導要領でも、主体的に取り組む意欲、感情を自己調整できる力、自己有用感などの情意面の資質・能力を育てることが重視されています。これまでも取り組んできましたが、今年度は意識して子どもの「気持ち」を育ててまいります。

臨時休業の間、保護者の皆さまには子どもたちの学習にも気を配っていただき、ありがとうございました。学校の職員も初めてのことで、ご案内に分かりにくかった点がありましたこと、お詫び申し上げます。段階的に教育活動がスタートしていく中で、課題の内容も再確認し、理解に合わせて進んでまいります。提出された課題の結果のみで評価を行うことはありませんので、ご承知おきください。

学習内容については、昨年度の未履修内容を加え、単元の組み換えや時間数の配分を見直して今年度の教育課程を編成していきます。様々な行事は、市全体で中止になったものがあります。学校として中止にしたり内容を変更して実施したりするものについては、現在検討しているところです。一回延期を決めた行事も、状況を見て中止や内容を変更する可能性があります。

学習や行事、学校生活を通して育つ子どもの「気持ち」を大切に、令和2年度を再スタートいたします。保護者・地域の皆さまには、子どもたちと中田小学校を見守り、ご協力いただきますようお願いいたします。